

居眠り運転で死傷事故、トラック運転手に実刑判決

◆2時間走行、15分休憩◆

2015.12.8

今年8月、静岡県の国道で大型トラックを居眠り運転し、6人を死傷させる多重衝突事故を起こしたとして、自動車運転死傷行為処罰法違反(過失致死傷)の罪に問われていた55歳の男に対する判決公判が3日、静岡地裁で開かれた。裁判所は禁錮3年の実刑を命じている。

問題の事故は2015年8月12日の午前5時55分ごろ発生している。信号待ちの車列に対し、減速しないまま後ろから進行してきた大型トラックが追突。車両4台が関係する多重衝突に発展した。

この事故で車列最後部に位置していたバイクを運転していた53歳の男性が死亡。巻き込まれたクルマ2台に乗っていた5人が重軽傷を負った。警察は、トラックを運転していた55歳の男性を自動車運転死傷行為処罰法違反(過失致死傷)容疑で逮捕したが、後の調べで男が事故当時に居眠り運転をしていたことが判明。検察は同罪で起訴している。

3日に開かれた判決公判で、裁判官は「被告は事故現場の手前約9kmから眠気を感じていたにもかかわらず、運転を中止することなく、そのまま継続させたことが事故につながった」と指摘した。

その上で裁判官は「被告は大型車の職業運転手でありながら、最も基本的な注意義務を怠った」と指摘。「結果は重大で、被害者やその家族に与えた身体的や精神的な苦痛は大きく、強い非難に値する」として、被告に対して禁錮3年の実刑判決を言い渡している。

「100日間 冬期交通事故ゼロ運動」

平成27年11月20日(金)～平成28年2月28日(日)

- 冬道、スリップによる追突・横転事故の根絶
- わき見・居眠り運転の防止へ…自己管理の徹底
- 天候・道路状況に応じた適正なスピード
- デイ・ライトで、自分の車の存在を知らせて…事故を未然に防ごう

会社に戻る途中のトラックにはねられ

信号のない横断歩道 母親と一緒に下校途中の小1女兒、重傷

2015年12月8日(火)22時35分

8日午後3時40分ごろ、埼玉県で、下校途中の小学1年の女兒(6)が、迎えに来た母親と親せきの女性と横断歩道を渡っていたところ、右方向から来たトラックにはねられた。女兒は両足を骨折する重傷。警察は自動車運転処罰法(過失傷害)の疑いで、トラックを運転していた、会社役員の容疑者(28)を現行犯逮捕した。同署によると、現場は信号機のない片側1車線の道路。容疑者は会社に戻る途中で容疑を認めているという。

大型トレーラーから木材落下、10人死傷事故

多重事故を招いたとして、運転手書類送検へ

2015年12月9日(水) AM 08:00

群馬県の上信越道で11月、大型トラックなど6台が絡んで10人が死傷した事故で、直前に大型トレーラーで現場を通過した際に積んでいた木材を落下させ、多重事故を招いた疑いが強まったとして、県警は年内にも、道交法違反の疑いで、トレーラーを運転していた男性を書類送検する方針を固めた。

おしゃべりでわき見か？ はみ出し

大型トレーラーと正面衝突 学生4人の車衝突 1人死亡

2015年12月8日(火)11時47分

神奈川県で、乗用車と大型トレーラーが正面衝突する事故があり、乗用車に乗っていた大学2年の男子学生が死亡しました。8日午前2時すぎ、神奈川県で、男子大学生4人が乗った乗用車が車線をはみ出し、対向車線の大型トレーラーと正面衝突しました。この事故で、乗用車の後部座席に座っていた男子大学2年(20)が全身を強く打って死亡しました。他の3人と大型トレーラーの男性運転手(37)が軽傷です。乗用車を運転していた男子学生(21)は「おしゃべりしていて前を見ていなかった」と話しています。

午前5時 ジョギング中、交差点を横断中の男性はねられ死亡

2015年12月08日 11:11

7日午前5時半ごろ、千葉県の信号機のある交差点で、県道をジョギング中に横断中の男性(76)が、軽自動車にはねられた。男性は胸などを打ち、搬送先の病院で死亡が確認された。軽自動車の会社員男性(46)は出勤途中で、車線側の信号機が青だったと話しているという。

トンネル内で降車、大型トラックにはねられ死亡

2015年12月8日(火)19時26分

8日午後2時半ごろ、神奈川県東名高速のトンネルで、軽乗用車から降車した男性(46)がトラックにはねられ、頭を強く打つなどして間もなく死亡した。この事故の影響で、通行止めになった。高速隊は、トラックを運転していた会社員の男性(62)を自動車運転死傷処罰法違反(過失運転致傷)容疑で現行犯逮捕し、容疑を同致死に切り替えて調べている。死亡した男性がなぜ降車したのか、わかっていないという。